

瑠璃



彼杵中学校
校長 川内康範

今日は2学期終業式

生徒たちの成長が感じられた

実り多い学期となりました。

「理解・協力に感謝いたします。」

担任の先生が書く通知表の所見を読むと、ひとりひとりの生徒が自分の役割を自覚して係活動を行ったり、友だちと協力して活動したり、また、日々の勉強に真剣に向き合ったりしている姿が浮かびます。2学期は体育大会、駅伝大会、学習発表会、PTA35キロウォークなど行事の多い学期でしたが、どれも日々の取組の積み重ねで成功につながったのだと感じます。今後も一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。

私も子ども心に冬休みはクリスマスだ、正月だと楽しみでした。しかし、大人になってみると、なかなか忙しくて大変な時期でもあります。中学生の皆さんと一緒に掃除をしたり、台所に立ったりなど、家族の一員として手伝いをしてくれると大変助かりますよ。手伝いをしながらいろいろ話をすれば、さらに「豊かな時間」になりそうですね。

3年生にとっては、この冬休みは受験に向けての正念場です。先日配布された3年生の通信には「冬休みを制するものは受験を制する!」とありましたが、最近「スマホを制するものは受験を制する」という言葉もあるようです。3年生、がんばれ!

「叱り方」について考えました。

12月9日(日)東彼杵郡学校保健会研究大会が波佐見町で開催されました。その中で「大人も子どもも生き生きとアンガーマネジメントを通して」と題した講演がありました。私にとってなかなか興味深い内容でした。特に「叱り方」についての話は、自分自身の心と向き合うことができた気がしました。一部紹介します。

・自分の価値観と相手の価値観は同じではない。

親「きちんとして」「片づけて」では伝わらない。

↓子「きちんとしてるよ」「片づいてるよ」

・意味づけの間違い

あいさつに対して返事がなかった時、メールに対して返事がない、既読にならない時

↓無視されたのではなく、聞こえなかったのかも、気づいていないのかも

・上手に叱るとは

何が問題で、どうすればよいのかわかってもらうこと

・YOUメッセージではなくIメッセージで

× 君はなぜこうしないんだ!

○ 私はこうしてほしい。

・悪い叱り方NGワード

過去:「何度も!」「いつも言ってるけど!」

責める:「なんで」「どうして」「なぜ」

強い表現:「いつも」「必ず」「絶対」

程度言葉:「ちゃんと」「しっかり」「きっちり」

修学旅行に行ってきました。



2年生37名は、12月11日(火)〜13日(木)京都への修学旅行に行ってきました。天候にも恵まれ、充実した3日間でした。京都で路線バスを乗り継ぎながら行った1日班別研修は思い出に残る貴重な経験になったと思います。また、貸切バスの中では乗ったとたん、そして、彼杵に帰り着く直前まで、係によるレクリエーション(イントロクイズ・しりとり・ビン

ゴ・プロフィールクイズ・マジカルバナナ・心理テスト・伝言ゲーム・USAゲームなど)で盛り上がりしました。進行も上手だったし、2年生全体がお互いを優しく受け入れている感じが伝わりました。彼杵中は「どの生徒も安心して自分を出せる集団づくり」をめざしていますが、十分達成できているなあと感じる時間でした。4月からは東彼杵中の3年生。これなら千綿中と一緒になくても大丈夫だなと確信しました。

大変お世話になりました
よいお年をお迎えください

